

No.とプログラム名	No.27 赤ちゃんのお世話や抱っこを体験してみよう！
実施日・回数	8月7日（水）午後、8月8日（木）午後 計2回実施
会場	【戸塚区】 戸塚区地域子育て支援拠点とっとの芽 戸塚区地域子育て支援拠点とっとの芽サテライト
参加児童数	9人
企業・団体等名	戸塚区地域子育て支援拠点とっとの芽
参加の目的 (150文字程度)	横浜市のニーズ調査から、実子を出産する前に赤ちゃんのお世話をしたことがない親が7割いることから、小学生の時から赤ちゃんに触れ合う体験ができる機会が必要と感じたため。また自分が大切にされている事、命の尊さについても感じる機会としたかったため。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

赤ちゃんのお世話と抱っこ体験

当日の流れ

- 1 13時00分～13時15分：自己紹介
- 2 13時15分～13時40分：講義「命の話 子育ての話」渡邊助産師
- 3 13時40分～14時20分：沐浴デモ・赤ちゃん人形でのお着替え体験
妊婦体験・missionシート作成
- 4 14時20分～14時50分：0歳児親子との交流・赤ちゃん抱っこ体験
- 5 14時50分～15時00分：振り返り（Missionの共有・感想）・修了証



お着替えデモ見学の様子



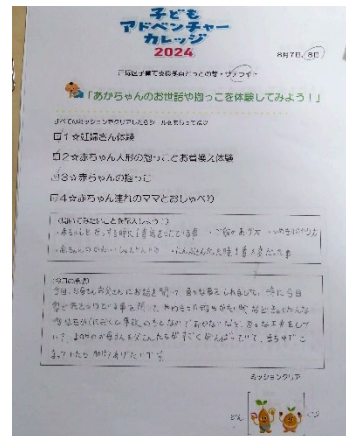
沐浴デモの様子

参加児童の様子や意見、感想など

- 抱っこや着替えのおさらい用の、もう一体の赤ちゃん人形をあちこち触って子どもたちは楽しんでいました。最初、表情が硬かった子達がこれをきっかけに緩んでいき、女子三人で仲良くなっていった。
- 赤ちゃんタイムの親子を2か所に分かれて入り、赤ちゃんの抱っこやママ達と交流。最初は緊張していたが徐々に馴染んでいった。ミルクをあげたり、いろいろな赤ちゃんを抱っこさせてもらっていた。1歳半の妹がいる5年生が6か月児ママから「小学生の方が先輩!」と絶賛されていた。他のママ達も協力的で積極的に声がけしてくれ、子どもたちの緊張がほぐれいった様子。

【感想】

- 赤ちゃんの気持ちに気づくのが大変だと思った。目を合わせてみたら信頼を得れたと思う。
- 妹の世話をして思い出を作りたい。
- 世の中のお母さん・お父さんたちがすごくがんばっていて、まちなかで困っていたら助けてあげたいです。
- お話を聞いたお父さんお母さんが、子どもを育てるのが楽しいと言っていたので、子育てがもっと楽しみになりました。



Missionシート

お母さん・お父さんへの質問 (Missionから抜粋)

- ・ 赤ちゃんと一緒にいて大変な事
- ・ 出産時に大変だったこと赤ちゃんを抱っこするときに思うことはなんですか。
- ・ 沐浴をするときに難しいことはなんですか
- ・ 妊娠中に困ったことはなんですか
- ・ 赤ちゃんのかわいい瞬間
- ・ 赤ちゃんと接するときに気を付けている事



赤ちゃん人形で練習

企業・団体の気付きや感想など

各回5名という少ない募集にもかかわらず130名近い申し込みがあったことに驚いた。そして赤ちゃんのお世話を体験したい子どもたちがこんなに大勢いることがわかり、子育て支援拠点として今後の取組のヒントになった。

沐浴デモでは初めて見る赤ちゃんグッズに興味津々で、助産師にたくさん質問する姿が見られた。またお着替え体験では、ボタンやひもがたくさんある服と格闘し、迎え袖の仕方を一生懸命練習していた様子が微笑ましかった。

親子との交流タイムでは、遊びに来ていた0歳児の保護者がとても上手に子どもたちを迎えてくれて、実際に抱っこさせてくれていた。哺乳瓶でミルクをあげる体験をした子どももいて、とても楽しかった様子。まだ帰りたくない！という声もあった。いつでもお手伝いに来ていいと伝えた所、翌週に早速ボランティアに来てくれた子どもがいた。

参加した子どもたちは、将来保育士や看護師になりたいという夢を持っていて、もっとたくさん子どもたちに子育て支援拠点の取組に参加してほしいと感じた。次年度は他の区の子育て支援拠点にも声をかけたくさんの子どもたちが参加できる仕掛けを考えたい。

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024



先輩ママとの交流（サテライト）



赤ちゃん抱っこの様子